

新古典派成長モデルを前提に考えます。ある経済のマクロ生産関数が、 $Y_t = AK_t^\alpha L_t^{1-\alpha}$ で与えられています。

( $Y_t$ 、 $K_t$ 、 $L_t$ はそれぞれ  $t$  期における産出量、資本ストック、労働人口)  
 ここで、労働人口は時間を通じて一定で、 $L_{t+1} = L_t \equiv L$  であるとします。

一方、 $t$  期の粗投資を  $I_t$ 、資本減耗を  $d$  としたとき、資本ストックの大きさは、投資によって  $K_{t+1} = K_t - d K_t + I_t$  で増加するものとします。また、各期における財市場は均衡していて、貯蓄率を  $s$  とおくと、 $I_t = s Y_t$  となります。

また、生産関数の係数を  $A = 0.8$ 、 $\alpha = \frac{1}{3}$ 、資本減耗率  $d = 0.04$ 、貯蓄率  $s = 0.2$  とします。

このとき、資本・労働比率 ( $\frac{K_t}{L_t}$ ) は時間の経過とともにいくりに収束しますか。

1. 1    2. 8    3. 27    4. 64    5. 125

(国家一般職 改題)